

1. 指定管理者名	公益財団法人多治見市文化振興事業団
2. 指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日
3. 業務の範囲	(1)精華交流センターの施設及び設備の維持管理に関すること。 (2)精華交流センターの使用許可に関すること。 (3)使用料の徴収に関すること。 (4)公民館事業及び児童館事業の実施に関すること。

4. 採点表								
評価項目		細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等	得点
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	5	平均値比 105%以上:5点、105%未満～95%:4点 95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点 ※95%未満がコロナの影響によるものと認められる場合は一律4点とする。	105%未満～95%:4点	平均値比(%)=(R3度実績)÷(前指定管理期間の実績平均値) 大ホール:48.4%(平均値比 89.6%=48.4%÷54.0%) 研修室:45.7%(平均値比 102.7%=45.7%÷44.5%) 会議室:39.0%(平均値比 93.1%=39.0%÷41.9%) 和室(東):25.2%(平均値比 105.4%=25.2%÷23.9%) 和室(西):24.3%(平均値比 88.0%=24.3%÷27.6%) 多目的実習室:34.7%(平均値比 257.0%=34.7%÷13.5%) ※児童センター該当なし	4点
					平均値比(100.0%)=利用率(36.2%)÷36.2%(上記①適用)			
			②利用人数	5	平均値比 105%以上:5点、105%未満～95%:4点 95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点 ※95%未満がコロナの影響によるものと認められる場合は一律4点とする。	公民館 95%未満～85%:3点 児童館 105%以上:5点	平均値比(%)=(R3度実績)÷(前指定管理期間の実績平均値) 【公民館】 大ホール:14,188人(平均値比 71.7%=14,188人÷19,788人) 研修室:7,555人(平均値比 85.1%=7,555人÷8,874人) 会議室:2,940人(平均値比 58.3%=2,940人÷5,039人) 和室(東):2,013人(平均値比 75.3%=2,013人÷2,674人) 和室(西):1,956人(平均値比68.1%=1,956人÷2,872人) 多目的実習室:3,391人(平均値比 151.9%=3,391人÷2,233人) 遊戯室:1,015人(平均値比 109.6%=1,015人÷926人) 【児童館】12,499人(平均値比149.4%=12,499人÷8,365人) (R2=8,365人) 公民館:3点 児童館:5点 総合点:4点 ※点数の比率は[公民館1:児童センター1]	4点
					【公民館】平均値比(93%)=利用人数(延べ45,557人)÷48,918人(上記①適用) 【児童館】平均値比(149%)=利用人数(延べ12,499人)÷8,365人(上記②適用)			
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)	15	仕様書以上:15～12点 仕様書に忠実:11～9点 仕様書の一部不実施(軽微):8～7点 仕様書の一部不実施(中程度):6～3点 それ以下:2～0点	年次報告書P107～106 【公民館】 ①精華校区まちづくり市民会議連携事業(9回1,461人) ②ラジオ体操だよ!全員集合(17回1,105人) ③筋力アップ体操(7回85人) ④活性化委員事業(65人) 【児童館】 ①乳幼児と保護者を対象とした事業(29回1,063人) ②児童を対象とした事業(57回526人) ③地域交流・多世代間交流(28回2,707人) ④中高生事業(35回145人) ⑤子育て相談と子育てネットワークづくりの推進(23回143人)	仕様書以上 14点	【公民館】 ①ラジオ体操は、大ホール、遊戯室、ロビーに入りきらないほどの参加があり、地域に根差した事業となっていることがうかがえる。 ②夏まつりを精華校区まちづくり市民会議との連携で2年ぶりに開催。一方の交流センターまつりは準備を重ねつつも中止。コロナの影響に左右されつつも、地域と相談しながら、可能な事業の開催に努めた。 ③中止とした交流センターまつりに展示予定だった作品を別日程で展示するなど利用者の気持ちに寄り添った配慮に努めた。 【児童館】 ①コロナ禍においても「乳幼児クラブ」、「小学生クラブ」等の事業のほとんどを仕様書以上に実施できている。 ②交流センターである利点を活かし、広い会場で事業を行う等新型コロナウイルス感染症対策を十分に講じて事業を行うとともに、地域連携事業にも積極的に取り組んでいる。 ③9月は緊急事態宣言発令中のため閉館したものの、年間の事業参加者数・来館者数ともに増加した。 公民館:13点 児童館:14点 総合点:14点 ※点数の比率は[公民館1:児童センター1]	14点
		(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)	15	内容・事業数等が 期待以上:15～12点 例年通り:11～9点 例年よりやや劣る:8～7点 例年より劣る:6～3点 例年よりかなり劣る 2～0点	年次報告書P106～119 【公民館】 ①おはようサロン(6回79人) ②自力整体で自然治癒力UP!(13回123人) ③折り紙サロン(6回34人) ④さわやか体操♪(4回173人) ⑤冬を彩る寄せ植え教室(16人) ⑥心とからだにやさしいハーブ教室(2回31人) ⑦精華ギャラリー(14回700人) ⑧VIVA!マナビバ!(34回137人) 【児童館】 ①乳幼児と保護者を対象とした事業(43回533人) ②児童を対象とした事業(36回84人) ③地域交流・多世代間交流(31回3,187人) ④中高生事業(8回30人) ⑤子育て相談と子育てネットワークづくりの推進(0回0人)	期待以上 13点	【公民館】 ①「自力整体で自然治癒力UP!」「さわやか体操」は、コロナ禍における健康意識の高まりを受けて実施されたもの。予防介護の入口にいる年代や夫婦での参加もあり、継続のニーズが高いことから年間を通して実施された。時世に見合った視点で課題を捉えて、講座を企画できたことは大きな成果と評価できる。 【児童館】 ①コロナ禍の中、交流センターである利点を活かし、広い会場で事業を行う等新型コロナウイルス感染症対策を十分に講じて事業を行うとともに、交流センター事業として活動を展開しており、9月は緊急事態宣言発令中のため閉館したものの、年間の事業参加者数・来館者数ともに増加した。 公民館:13点 児童館:13点 総合点:13点 ※点数の比率は[公民館1:児童センター1]	13点
	(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する 適正(普通):2点 一部不備あり:1点 不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。	年次報告書P120 ①施設内清掃(毎日) ②特別清掃(年2回)	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点
		②保守・点検			年次報告書P120 ①事業計画にある法定点検ほか必要な保守点検を実施	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
		③保安・警備			年次報告書P120 ①開館時間の巡回警備、機械警備を実施 ②年間を通して安全な状態を維持。監視カメラの設置により警備体制を強化	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
		④小規模修繕			年次報告書P121 ①有償修理 全10件 総額 828,234円	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
		⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)			年次報告書P121 ①開館前と夕方の1日に2回以上、施設周辺(屋根、壁、駐車場、フェンス、植木等)及び各部屋(床、壁、机、椅子、備品等)の安全確認を実施。 ②安全性確保のためのチェックシートを活用し、異常の早期発見に努めている。 ③雨天時に玄関付近の床タイルが滑りやすくなるため注意喚起の看板を設置。 ④隣接する上野公園の安全確認を毎日行い、異常箇所があれば速やかに市へ報告。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。 交流センター利用者には隣接する公園も施設の延長であり、公園の状況にも注意が払われている。	

2	施設管理状況 (25点)	(2)その他管理業務の実 施状況(15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する 期待以上:3点 適正(普通):2点 一部不備あり:1点 不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。	年次報告書P122 ①市ファイリングシステムに準じて、文書を適正に保存、保管。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点
			②環境への配慮			年次報告書P122 ①近隣住民からの要望による施設周辺の植木の剪定、草取り、溝掃除を毎月実施。 ②図書室・玄関・ロビー・大ホール廊下の照明をLED電球に交換。省エネに努めた。 ③全館清掃によりエアコンのフィルター掃除を年間2回実施。電気代節約につなげた。 ④試し印刷には使用済用紙を使用。消毒用布巾は洗濯・除菌して使用するなどごみの減量に努めた。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			③バリアフリー			年次報告書P122 ①正面玄関に車いすを配置。常に安心して利用いただけるよう定期点検を実施。 ②車の乗降に介助が必要な場合は、職員が対応し安全に入退館いただけるよう努めた。また乗降後に運転手が駐車場へ車を回している間、介助者の補助を職員が支援。 ③各部屋前の靴の履き替え場所に椅子を設置。安全に履き替えができるよう配慮。 ④和室に座卓用椅子を設置。正座等が難しい方にも利用しやすい環境を整えた。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			④備品管理			年次報告書P122 ①消毒セットの貸出し、次亜塩素酸水の給水器による備品の消毒、清掃を実施。 ②備品収納案内を各部屋の備品に貼付け、備品配置図の掲示により利便性を高めた。 ③多目的実習室の調理道具入れや食器棚に「写真入り収納ラベル」を取付け、備品管理簿を作成し管理。 ④利用団体の備品は、写真つきの「預かり備品台帳」を作成、管理。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			⑤個人情報保護			年次報告書P122 ①個人情報が記載された資料とデータは、鍵のかかるキャビネットで保管。 ②講座申込時にメディアの撮影・取材の可否を確認。 ③不特定多数が共有する図書カードは、氏名ではなく番号のみ記載。 ④児童館入退館受付簿は、先に記入した個人情報が見えないようにバインダーを工夫。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする 事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点 事故等対応に不備あり:△1点	年次報告書P123 ①全ての事故に対して適切かつ迅速な初動対応を行い、市への速やかな一次報告、再発防止策を含む詳細報告を行った。 ②加入保険を適用したケガ2件(サークル中の転倒、帰宅途中の自転車転倒)について適切に対応。	事故なし・対応に不備なし 0点	事後の対応は適切であったため、負傷者側とのトラブルはない。	0点
3	当該施設の経営状況 (5点)		①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	収入31,708,397円÷支出32,890,268円＝96%	100%未満 3点	【参考】令和元年度106%、2年度93.4%	3点
4	より良い施設運 営のための取 組 (30点)	(1)市民・利用者の声の反 映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点 適正(普通):7～5点 不備あり:4～1点	年次報告書P124 ①コロナ禍において、非接触型のバーコードによる図書貸出システムの導入。 ②事業の中止等により利用促進が難しかった一方、備品整備や利用方法などを工夫し、利用者にとつての利便性をより高めるよう努めた。	期待以上 9点	①安心、安全な図書の貸出に配慮した非接触型の貸出方法は、非接触だけでなく効率化にもつながるため、他の施設への展開も期待される。 ②ダンスサークルのニーズに応えた鏡の設置をはじめ求められる備品整備に心がけ、コロナ明けに向けて利便性の向上に努めた。	9点
			②苦情対応	5	期待以上:5点 適正(普通):4点 不備あり:3～1点 ※苦情なしは5点とする	年次報告書P124 ①乳幼児室の床が硬く、乳幼児の転倒時が危険なため、ブランケット等敷物を貸出。 ②利用者の音楽活動は、近隣への配慮のため窓の開放が困難。利用団体と協議しながら冷暖房(強制換気システム有)、換気扇の利用を推奨した。 ③駐車場の植栽の手入れについて、隣接する個人宅より要望があり、適切に対応。	苦情なし・期待以上 5点	①施設の構造上の課題はすぐに改善することが難しいが、施設として考えうるできる限りの対策に努めている。 ②住宅地の中にある施設であり、近隣住民への配慮は欠すことができない。利用者の音楽活動と近隣への影響、植栽の成長による隣家への影響など精華ならではの気配りに努めている。	5点
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)	15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が 期待以上:15～12点 適正(普通):11～9点 普通未満～物足りない:8～0点	年次報告書P125 ①令和2年度に交流センターとしてリニューアルしたが、同時期にコロナ禍となり地域コミュニティーとしての居場所づくりが困難となった。一方で交流センターが周知され、利用者は2年度の約1.2倍に増加。まん延防止措置や緊急事態宣言による時短、休館、事業自粛が相次ぐ中の利用者の増加は、4年度への期待となる。 ②特に児童館の年間利用は、2年度と比較して小学生が約2.9倍、中高生が約4.8倍であり、子どもたちの居場所としての土台を少しずつ固めることができた。 ③先の見えない制限がある中で最大限の「利用しやすさ」を全職員で考え合い、前向きに笑顔を絶やすことのないように努めてきた。 ④利用者・地域との協働によるよりよい施設運営により、利用率は2年度比112%に向上。	期待以上 14点	①交流センターとしてオープンしたと同時にコロナに左右され続けており、複合施設としての活動の模索が続いてきた2年間である。 ②まちなかの児童館としてニーズも高く、乳幼児親子が孤立しないよう、コロナ禍であっても対策を徹底して、できる限り事業を実施しようとする姿勢がうかがえる。 ③コロナによる1か月の休館期間があったにも関わらず、利用率、来館者数の増加は、そうした姿勢の顕れと評価する。 ④令和2年度に続き臨時休館や時間短縮に翻弄されながら、安心安全な施設運営に努めた。	14点	
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	不備なし	遅れ・不備なし 減点なし		0点	
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	指示等なし	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし		0点	
合計				100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下				合計86点
						全体的な評価 ①住宅地の中の施設として、近隣への配慮や駐車場不足と常に向き合いながら、利用者によりよい環境を提供しようと努めている。 ②市の修繕が追いつかない箇所を積極的に整備し、施設の利用につなげていこうとする取組みがうかがえる。 ③児童館の来館者は前年度と比べ大幅に伸びており、コロナ禍の中での工夫、努力が伺える。			極めて良好